

事務所でも時々小さなパーティーを開く。先日も三十名ほど集まり、料理を楽しみ、お酒を飲み、じっくり語り合った。ワインが好評で九本も空いた。以前、女性キャスターとの路上キス写真を撮られた某議員もここに。熱く政治を語り、皆と楽しくグラスを傾けた。

まさにその翌日、臥薪嘗胆、キャスターに復讐を果たしたあの「彼女」が再び、脚光を浴びた。今もワイドショーや週刊誌をにぎわせているラブホテル騒動だ。政治の話なんかではなく、遠慮せず例の「路チュー」を尋ねたらよかった。その残念がった参加者もいたよつだ。

さて、何かと世の耳目を集める不倫。過去、相談を受けたいろんな事例をもとに、そのメカニズムを考えてみたい。

多くの場合一度で終わら

夫婦・家庭問題コンサルタント

池内 ひろ美



いけうち・ひろみ 1961年岡山市生まれ。離婚経験も踏まえ「東京家族ラポ」を主宰。著書に「リストラ離婚」など。東京都。

今を読む

相手代え 繰り返す「狩り」

不倫のメカニズム

くなく、浮気を繰り返す男だろうか。

話を戻そう。男性の視線つのできたのが常だ。ひとしかし、男性が狩人の立場にあれば、恥すかしさでこ

返す女性に、見た目がいかべく狩りを行うためには、にたおやかであつても、その心根には男性的な素養を大きく持つ人といえるのではないだろうか。

世の多くの男性はそんな心理を知らない。独身で美その場合の女性は、そもそも狩猟欲に支えられてはいない。不倫が長くなるにつれ「奥さんと別れて」

ない。相手を代え、繰り返す点」が大きくあるからこそされる。なぜだろうか。男性の「私」をきれい

まず、不倫は恋愛や結婚から見える「私」をきれいに客観視できるのである。逆には、浮気とは縁遠い女性というの、案外セクシ性たは、獲物を狙う狩人のように、既婚男性を狙い、恥すかしい。

問題は、恥の意識だけで

る。相手を代え、繰り返す点」が大きくあるからこそされる。なぜだろうか。男性の「私」をきれい

まず、不倫は恋愛や結婚から見える「私」をきれいに客観視できるのである。逆には、浮気とは縁遠い女性というの、案外セクシ性たは、獲物を狙う狩人のように、既婚男性を狙い、恥すかしい。

問題は、恥の意識だけで

る。相手を代え、繰り返す点」大きくあるからこそされる。なぜだろうか。男性の「私」をきれいに客観視できるのである。逆には、浮気とは縁遠い女性というの、案外セクシ性たは、獲物を狙う狩人のように、既婚男性を狙い、恥すかしい。

問題は、恥の意識だけで